

2008年12月9日

ゼビオ株式会社
プレスリリース

環境配慮型レジ袋の導入を開始

拝啓 時下ますますご清祥のこととご拝察申し上げます。当社に対しましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ゼビオ株式会社(本社:福島県郡山市 代表取締役社長:諸橋友良)は、環境配慮型レジ袋の導入を開始いたします。この新レジ袋は、2008年12月より順次導入を進め、2009年以降には全国200以上の店舗において本格導入を予定しております。今後もゼビオグループでは、次世代のより良いスポーツ環境の構築を目指し、地域の皆様とともに自然にやさしい活動を進めてまいります。

記

<新レジ袋の導入について>

■ 新レジ袋の特徴

- ① 強度アップによる軽量化(20~40%の樹脂原材料の削減)
- ② CO2削減効果
製造時:一枚あたり重さ25%カット(軽量化)によるCO2削減効果
焼却時:一枚あたり重さ25%カット(軽量化)によるCO2削減効果
ナノハイブリットカプセル(NHC2)使用による削減効果およそ35%

この袋は、アイトリックス株式会社(本社:東京都港区 社長:長谷川正治 以下アイトリックス)が、レジ袋メーカーと最新のナノテクノロジーをベースに開発・製品化したものです。

ナノ材料(ナノカプセル)とは?

最新のナノ(10億分の1メートル)テクノロジーにより、レジ袋の強度を向上させ軽量化を図ります。その際、焼却時のCO2削減として働く「金属ポルフィリン」、強度アップとしては「リン脂」がナノ材料として使用されています。前者は動物のヘモグロビンや植物のクロロフィルと同じ構造体をしており、後者は細胞膜を構成している物質であり、両方ともに非常に安全な物質です。

■ 新レジ袋の導入により、使用量の削減、CO2排出量が半減いたします。

一般的に、レジ袋の殆どが最終的に家庭ごみとして焼却処分されます。今回のナノテクノロジーを使用した新レジ袋導入の効果は、使用量約60トンの削減、温暖化ガス排出(CO2)量の削減効果は年間約1,200トンにもなります。

■ 新デザイン

文章:「ゼビオグループはスポーツフィールドである地球の環境にやさしい活動を進めてまいります。
この袋はナノテク素材を使用した焼却時にCO2を削減する環境にやさしい袋です。」

既存のスーパースポーツゼビオの袋では、ホワイトカラーを使用しておりましたが、新デザインでは、当社のコーポレートカラー「ゼビオブルー」に、「持続的な成長」と世の中の動きを敏感に察知する「アンテナ」を意味する、右上へ線が延びた「X」をデザインしております。



※新レジ袋は、2008年12月11日オープンのスーパースポーツゼビオ福島南バイパス店より随時導入いたします。

当社では、地球温暖化防止や環境問題に向けた保全活動として、従業員一人ひとりによる積極的な業務改善や、全国店舗の設備の改善により、省エネ対策を推進しております。地球温暖化や森林伐採、水質汚染など様々な環境問題と「スポーツ」は密接な関係にあり、当社では、お客様へ商品の販売やサービスを提供すると同時に、環境問題に取り組むことでより良いスポーツ環境をサポートして参りたいと考えております。今後も社会的責任に関する様々な施策に積極的に取り組んで参ります。

以上